

第42回全日本学生合気道競技大会

女子団体 日本一!

合気道部



やったぜ 大商大なでしこ!!!

磯部 亜由美
(経営1年)

堀 里奈
(経営4年)

中嶋 彩華
(経営3年)

【第43回春期関東学生合気道競技大会】

乱取競技男子団体戦
3位 関西学連A
(松村 真生・岡本 哲弥・不二 俊彦・泉平 聖)

乱取競技女子団体戦
優勝 関西学連
(堀 里奈・中嶋 彩華)

演武競技男子対徒手の部
3位 松村 真生(商3年)(北淀高)
泉平 聖(経営3年)(和歌山商業高)

演武競技女子対徒手の部
優勝 堀 里奈(経営4年)
中嶋 彩華(経営3年)

【第42回全日本学生合気道競技大会】

乱取競技男子団体戦 1回戦敗退

乱取競技女子団体戦 優勝

乱取競技男子個人戦
準優勝 岡本 哲弥(商3年)

乱取競技女子個人戦
4位 中嶋 彩華(経営3年)
2回戦敗退 堀 里奈(経営4年)

演武競技男子対徒手の部
ベスト8 松村 真生(商3年)
岩本 高樹(商3年)(和歌山商業高)

演武競技女子対徒手の部
ベスト8 堀 里奈(経営4年)
中嶋 彩華(経営3年)

【第36回関西合気道競技大会】

短刀乱取競技男子個人戦
ベスト4 岡本 哲弥(商3年)

短刀乱取競技女子個人戦
ベスト4 中嶋 彩華(経営3年)

演武競技 初級の部
3位 新井 誠矢(公営1年)
(和歌山商業高)
鷲見 大芽(公営1年)
(京都翔英高)

種目別混合団体戦
内山杯 ベスト4
安部杯 1回戦敗退

平成23年10月30日(日)に開催された第42回全日本学生合気道競技大会、乱取競技女子団体戦で創部以来、初の快挙を成し遂げた。

合気道の女子団体戦は先鋒・中堅・大将の3人が対戦し、その勝者数で、勝敗が決定する。大商大は1回戦、2回戦を2-1で勝ち進むと、準決勝の相手、国士館大学にも2-1で勝利。ついに決勝戦に歩みを進めた。決勝戦の相手は、天理大学。

先鋒は、主将の堀里奈(経営4年)(高石高)。個人戦の1回戦で負けた東選手にリベンジすべく、先鋒対決で見事にその悔しさを晴らした。中堅の磯部亜由美(経営1年)(東商業高)は、天理大の中で

に攻める小川選手の攻撃から、一本一本丁寧にポイントを取り、見事に勝利をものにしました。

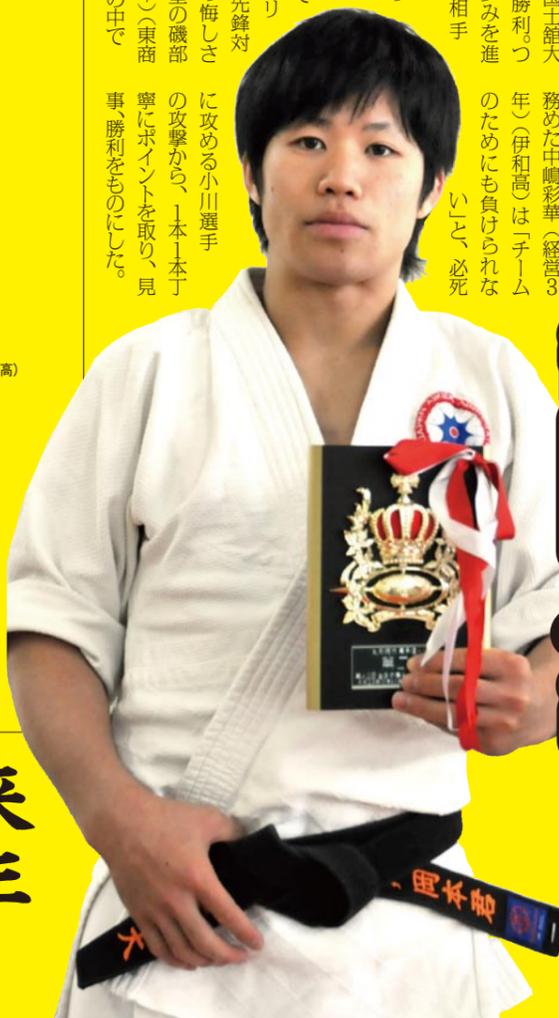
も一番強い高矢選手に惜しくも敗れ、勝負は大將決着となった。大將を務めた中嶋彩華(経営3年)(伊和高)は「チームのためにも負けられない」と、必死



創部以来 初の快挙

乱取競技男子個人戦

岡本哲弥(商3年) 準優勝



女子ばかりではない。乱取競技男子個人戦に出場した岡本哲也(商3年)(志度高)が準優勝を果たした。

岡本は、3回戦まで順調に勝ち進んだが、準決勝の相手、国士館大学の竹原選手とは厳しい試合となった。なかなか点が取れず、僅差の試合がつづき、残り時間あと僅かで岡本がポイントを取り、決勝進出を決めた。

決勝戦の相手は、宿敵天理大学の水畑選手。春先に行われた関西大会で、一度敗れた相手。全国でリベンジと挑んだ試合はお互いに譲らず、勝負は延長戦へ。延長戦でも決着がつかないかに見えたが、ラスト30秒で相手に有効を取られ、軍配は水畑選手に上がった。

昨年優勝を飾った岡本は、2連覇を目指してのぞんだ試合だったが悔しさをにじませた。

岡本は「来年の全日本大会では、団体・個人ともに優勝!」と意気込みを語った。



来年こそは 決める!!!

クラブピックアップ

Pickup-5 ライフル射撃部



俺は孤独なスナイパー



初心者でも入部可能!!

ライフル射撃ってどんな競技?

ライフル射撃は、エア・ライフルと呼ばれる競技用の空気銃を使用し、10m先に固定された紙標的に弾を撃ち、試合では男子競技は60発、女子競技は40発で点数を争います。

ライフル射撃において3つの基本的な射撃姿勢があり、構え方によって競技種目が構成されています。

- 立射(Standing)・・・立っている状態で標的に撃つ
- 伏射(Prone)・・・うつ伏せの状態での撃つ
- 膝射(Kneeling)・・・片膝をついた状態で標的に撃つ



狙うは上位入賞!!

休部中だったライフル射撃部が復活!今年、秦勝宏くん(経済1年・南京都高)が入部し、現在1名で活動しています。今年11月に行われた全関西学生新人戦の10mエアライフル男子競技(10mS60M)に出場。個人では上位入賞を目指し、ク

ラブも部員を増やして、昔のような活気を取り戻したい」と、今後の目標を語ってくれました。ライフル射撃を大学から始める選手も数多くおり、「男女問わず初心者でも大丈夫です!」と話してくれたように、まだまだ今からでも入部可能です!!

すぽせんNEWS

商大スポーツセンターの旬の情報をお届け!

文化会系クラブ大会結果

体育会系クラブではありません。文化会系クラブも頑張っています!今年度、大会に出場した文化会系クラブの主な大会成績をお伝えします。

- 囲碁・将棋部
「関西学生囲碁春季リーグ」1部4位
- 吹奏楽部
「第50回大阪府吹奏楽コンクール」大学の部 銅賞
- 麻雀研究会
「第16回青雀旗争奪 全国大学対抗麻雀選手権大会」大阪地区予選7月大会
3位 大商大E 星山 享平(経営4年)(松岡高) 森 龍治(経済1年)(香川県藤井高)



来年度の活躍にも期待!!

「スポーツを通じてまちを元気にしたい!」そのような想いを目標に掲げ、スポーツセンターではスポーツ教室・スポーツ大会・ジュニアスポーツ育成教室の開催など、多岐に渡り地域スポーツ振興を行っております。東大阪市サッカー協会中学部が主催する、「2011東大阪市民サッカー大会」中学生の部の大会後援という形で、11月6日(日)準決勝の2日間を本学第1グラウンドにて開催致しました。グラウンドでは選手が元気いっぱいフィールドを駆け巡っていました。また、NPO法人 徳育空手道を奨める会が主催する「第8回徳育空手道交流大会」が、11月23日(水祝)に本学総合体育館にて開催されました。小中学生の選手並びに保護者の方々、総勢2,000人が総合力で、会場は熱気に満ち溢れていました。



東大阪市民サッカー大会、徳育空手道交流大会開催(大会後援事業)



商大スポーツ 復活論

【今回のテーマ】『勝てるチーム』とは…?

【講師】アスレティックトレーナー 山本 大輔

商大スポでは、関大商大生に送るメッセージ、「商大スポーツ復活論」を連載しています。今回も必修です!(但し出席は取りません)ぜひクラブ活動の参考にしてください。

(精神的・身体的コンディション)、いい雰囲気です試合に臨むためには、普段の練習から、その形・雰囲気を作ることが大切です。

50項目の「勝てるチーム」の要因のチェックリストを用意しました。今の自分達のクラブは何個当てはまるのかチェックしてみてください!!

そして、シーズン真っ中のクラブも、来シーズンに向けて練習しているクラブも、チェックした今日から「勝てるチーム」になるため、1項目でも実行してみてください!!

一項目でも実行!



勝てるチームの50の要因

いくつか当てはまるかチェックしよう

- 活気・活力が全員にある
- よい言葉が多い。褒め言葉が多い
- 研究熱心で向上心がある
- 自分がリーダーのつもりで1人1人やっている
- 人の嫌がることを喜んで手伝い、協力する
- コンディションがいつも万全である
- グラウンド(体育館)・道具がいつも万全である
- 日誌・試合ファイルの内容・質量ともに万全である
- 練習前後の個人練習、フリー練習に目的を持って取り組み、厳しい
- いろいろな自分のルーティーンを持っている
- いつも楽しく、かつ万全を期し、全力を尽くす
- 真剣さをキープできる
- やるべき仕事、役割をきっちりやる
- 授業中と日常とのけじめがついている
- 自分から学ぶという学習意欲があり、没頭できる
- 目標のために、今やるべきことをやっている
- 結果は気にせずとことんやっている
- あきらめない気持ちを持ってぶつかっている
- いつも次へ、次へのチェックと予測が十分である
- 正直、まじめ、冷静、プライド、厳しさをもっている
- ハードワークについている
- 集中とリラックスのメリハリがある
- 自分のため、心の支えのため目標のためにやる
- 笑いがあり、ユーモアがあり、仲がよく、けじめがある
- 同期、先輩、後輩を大切にす
- 人の話を聞く耳を持ち、そして自分に生かす
- 予測して、準備して実行できる
- 悪かったら素直に謝る
- 成功の方法をいつも探している
- 時間を守り、大切に使う
- イメージ力が強い
- 1つ1つに意味を感じている
- 小さな努力をこつこつやる
- チーム内に競争心がある。伝達・報告・相談が早い
- ここ一番と思っていつもやっている
- こどわりを持って自分を追い込む
- 勝つ方法を見つけ、探してやっている
- やれること、出来ることを見つけて、率先してやっている
- プラスのセルフトークで自分を高められる
- ストレスなし
- 責任を持ってやっている
- 軌道修正が早い
- 情報収集が早く、その情報を生かしている
- いつも前向きに考える、対処が早い、反応が鋭い
- 強気、平常心、上向き
- Mモードよし
- バランスよし
- 日常生活がきっちりしている
- 挨拶の声が大きく、はっきりしている
- 思いやりがある

※コーチングクリニック 2007年9月号より

吹奏楽部 誕生!

すぽせんMVP

スポーツセンターが勝手にMVPを贈呈するこのコーナー。今回は、吹奏楽部の産みの親ともいえる、2人をとりあげました!

さつ方に対して、できる限り応えたかったから。今では、他大学で人手が足りないという状況に、過去の自分たちが助けてもらったように、今度は、率先して僕たちが助ける人に行きます」と語った。最初は年間3つだけだった出演も、今年からは年間20のイベントに出演しました。京都駅前でも約1,000名のお客さんを前に出演した連盟のイベント、学内で行ったミニコンサート、そして、オープンキャンパスのクラフデモンストレーション、卒業式祝賀会での演奏など、どんどん活動の規模が大きくなったのも、最後に後輩へのメッセージも語ってくれました。

中尾くん「サークルを結成した時に掲げた目標が2つ。それは、「自由」にやる「音楽を楽しむ」ということ。その中でも特に、「音楽を楽しむ」という気持ちを忘れず大切にしたい。また、人とのつながりを大切にしたいです。」



吹奏楽部部長 中尾 佳資 さん



吹奏楽部副部長 西浦 久博 さん

中尾くん、西浦くん、4年間、本当にお疲れさまでした!



編集後記

この間、ウエイトリフティング部の試合を観に行きました。個人競技だけど、闘っているのは一人だけではないように思えた。仲間へ声援を送り、選手の番までマッサージュやアップのサポートなど部員全員で闘っているように感じた。大商大ウエイト部の「チーム力」を知ることができた1日だった。



発行 大阪商業大学スポーツセンター
編集 大阪商業大学スポーツセンター
印刷 日本ビジネスアート株式会社

商大スポーツ メールマガジン配信中! 毎週月曜日発行 まだの方はお急ぎを!

